


織田 友理子

おだ ゆりこ / Oda Yuriko

<p>所属・役職</p>	<p>認定特定非営利活動法人ウィーログ 代表理事 特定非営利活動法人 PADM（遠位型ミオパチー患者会）代表 一般社団法人 WheelLog 代表理事</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>電動車いすで関東を中心に、全国各地で活動</p>	
<p>略歴</p>	<p>2002年：進行性の筋疾患「遠位型(GNE)ミオパチー」と診断を受ける 2006年：車椅子生活となる 2017年：ユーザー投稿型のバリアフリーマップ「WheelLog!」をリリース</p>	
<p>こんなことを支援できます</p>	<p>①ICTを活用したバリアフリー情報の可視化・オープンデータ化 ・バリアフリーマップ「WheelLog!」を活用した地域のアクセシビリティ情報整備の支援。 ・自治体保有データとユーザー投稿データの連携による、持続可能な情報更新体制の構築。</p> <p>②ユニバーサルツーリズム推進 ・インバウンド・高齢社会に対応した観光地バリアフリー情報の整備と発信を支援。 ・自治体と連携した「誰もが楽しめる観光」の企画・実施支援。</p> <p>③共生社会・まちづくり支援 ・バリアフリーまち点検の実施、住民参加型の改善提案の取組みを支援。 ・障害当事者の視点から、まちのバリアフリー化に関する助言。</p>	
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>今後の高齢社会やインバウンド需要の高まりを鑑みると、バリアフリー情報のオープンデータ化と発信は極めて重要です。</p> <p>私は重度障害当事者としての視点から、ICTを駆使した「情報のバリアフリー」を専門とし、バリアフリー情報の整備・発信を支援しています。</p> <p>共生社会の実現、そして防災の観点も踏まえ、住民参加型のバリアフリー調査や、地域のユニバーサルツーリズム推進のためのアクセシビリティ整備などについて、具体的な解決策をご提案します。</p> <p>車いす利用者も含め「誰一人取り残さない」共生社会を共に築くため、自治体の皆様と一体となって社会構築に取り組んでまいります。ぜひ、お気軽にご相談ください。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

OD オープンデータ **健** 医療・介護・健康 **観** 観光

<プロフィール>

認定NPO法人ウィーログ代表理事、NPO法人PADM（遠位型ミオパチー患者会）代表。電動車いすを利用する重度障害者。2002年に進行性の筋疾患「遠位型(GNE)ミオパチー」、さらに2013年には神経疾患である「多発性硬化症」と診断を受ける。2005年に結婚、2006年に長男出産。2008年から患者会活動を開始。2024年にGNEミオパチーの世界初となる新薬が日本で承認される。2017年にユーザー投稿型のバリアフリーマップ「WheelLog!」をリリース。その活動は、これまでにドバイ万博グローバルイノベーター、「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞などで高く評価され国内外で多数受賞。2025年7月にはニューヨーク国連本部で開催された「ハイレベル政治フォーラム（HLPF）」で日本のバリアフリー推進の取り組みを世界に発信するためスピーチした。国や自治体の検討会委員を務め、元健常者であり難病患者・車いす当事者の立場から、福祉先進国・日本の実現を目指している。

<主な役職・委員>

認定NPO法人ウィーログ 代表理事／一般社団法人WheelLog 代表理事／NPO法人PADM（遠位型ミオパチー患者会） 代表／株式会社インターアクション（東証プライム上場） 社外取締役／国土交通省 ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会 委員／国土交通省 建築設計標準に関するフォローアップ会議 委員／国土交通省 歩行空間の移動支援に係るデータのオープンデータ化・活用促進ワーキンググループ 構成員／総務省 地域情報化アドバイザー／東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員／一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 理事／社会福祉法人小田原福祉会 評議員 等

<主な受賞・選出歴>

Google インパクトチャレンジ グランプリ 受賞（2015年）／若者力大賞「ユースリーダー賞」 受賞（2016年）／Zero Project「Innovative Practice Award」 受賞（2018年）／東京都オープンデータアプリコンテスト 入賞/来場者特別賞（2018年）／World Summit Award「Global Champion」 受賞（世界一）（2019年）／マサチューセッツ工科大学 MIT Solve Solver Teamsに選出、Morgridge Family Foundation Community-Driven Innovation PrizeとGM Prize on Community-Driven Innovation ダブル受賞（2019年）／総務省主催「ICT地域活性化大賞2019」優秀賞（2019年）／マサチューセッツ工科大学 MIT Solve Solver Team 選出（2019年）／ドバイ万博 Expo Live Global Innovator 選出（2020年）／国土交通大臣 バリアフリー化推進功労者大臣表彰（2020年）／STI for SDGs 文部科学大臣賞（科学技術振興機構）（2020年）／デジタル庁 good digital award D&I 部門最優秀賞（2022年）／第7回「ジャパンSDGsアワード」内閣総理大臣賞 受賞（2023年）／Public of The Year 2024「学術・文化部門」受賞（PR TIMES主催）（2024年）／ignite! PITCH 2025 最優秀賞 受賞（2025年）／第13回 Web グランプリ「Web人賞」 受賞（2025年）／ICG サミット FUKUOKA 2026「ソーシャルグッド・カタパルト」第2位 受賞（2026年）／READYFOR アワード2026「イノベティブ賞」 受賞（2026年）／Sustainable Global Award 2026「Well-being & Community 部門賞」 受賞（2026年）

<学術実績：論文・学会発表等>

▼ 論文

- ・「車いすプローブ情報『WheelLog!』を用いた新宿駅のアクセシビリティに関する評価手法の提案」織田友理子 他／日本建築学会技術報告集 25(60) 1001-1005 2019年6月
- ・「Design methods of urban and regional space utilizing wheelchair probe information. - Empirical Study on Accessibility of Shinjuku Station Transfer Using Barrier Free Map "WheelLog!" -」織田友理子 他／International Journal of Advances in Computer Science & Its Applications - IJCSIA 2018 8(2) 53-58 2018年12月

▼ 国際会議（講演発表）

- ・「Proposal of Analysis and Evaluation Method of Urban Area Space Utilizing of Wheelchair Probe Information」織田友理子 他／The IEEE 6th International Conference on Future Internet of Things and Cloud :FiCloud 2018 170-175 2018年8月

▼ 口頭発表・研究報告

・日本建築学会大会（2018年9月6日）

車いすプローブ情報を活用した都市・地域空間の設計手法について バリアフリーマップ WheelLog! を活用した新宿駅の乗り換えのアクセシビリティに関する実証的研究 織田友理子 他

・日本建築学会関東支部研究報告（2018年3月1日）（織田友理子 他）：

車いすプローブ情報を活用した都市・地域空間の分析・評価手法の提案－投稿型バリアフリーマップの「WheelLog!」によるまち歩きイベントについて－

車いすプローブ情報を活用した都市・地域空間の分析・評価手法の提案－投稿型バリアフリーマップの「WheelLog!」による実証的研究－

・日本福祉のまちづくり学会 第24回全国大会（2021年10月16日）（織田友理子 他）：

都市の高密度に積層されたバリアフリーネットワークの構築－

都市公園におけるインクルーシブな整備に向けた分析・評価手法－

<これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト>

2025年度：国土交通省（ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会 委員、歩行空間の移動支援に係るデータのオープンデータ化・活用促進ワーキンググループ 構成員、建築設計標準に関するフォローアップ会議 委員）／2024年：台東区（「バリアフリーワークショップ企画・実施支援委託」）／2022-2023年度：札幌市（「Universal MaaS」プロジェクト（産官学連携実証））／2021年度：渋川市（「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業）、鹿児島市・横浜観光コンベンション・ビューロー（ユニバーサルツーリズムセミナー）／2020年度：酒田市（オリパラ基本方針推進調査「酒田市中心のバリアフリーまちづくり」）、神戸市（国際スポーツイベントを見据えたバリアフリー状況等調査及びバリアフリーマップ作成等業務）／2019年度：国土交通省（観光地バリアフリー情報提供手法に関する検討会 委員）、愛知観光局（ユニバーサルツーリズム推進セミナー）

<関連情報・リンク>

- ・AERA <https://dot.asahi.com/articles/-/214122>
- ・日経新聞電子版記事 <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ090440370T00C25A8CT0000/>
- ・国連取材 <https://www.youtube.com/watch?v=KW3HaYgkRVk>